

平成30年度 NSH海外研修 in 台湾

2年生人文科学コース自然科学コースの生徒を対象にしたNSH研修を、今年度は海外研修として実施しました。台湾への修学旅行を両コースのみ他クラスより1日長い4泊5日とし、その4日目を特別な研修にあてました。

午前は、台湾大学集思センターで、まず台湾大学名誉教授・台湾日本研究学会会長 何 瑞藤 氏の講義を拝聴しました。その後は、留学生を相手に4月より取り組んできた課題探究の内容を英語で発表し、討論を行いました。事前に練習した甲斐もあって発表はスムーズに進み、留学生からは研究に役立つ多くの助言をもらいました。留学生との交流はとても楽しく、達成感と満足感に包まれました。

午後は、人文科学コースは日勝生加賀屋を訪れ、支配人の徳光重人氏の講話と客室係として働く台湾人との交流から多くのことを学びました。自然科学コースは新竹市の新竹サイエンスパークを訪れ、最先端の科学技術に触れました。夕方再び合流し、夕食は北京ダックに舌鼓を打ちました。

学びの多い研修でした。とくに、異国の地で英語発表と討論を通して留学生と過ごした時間が生涯忘れ得ない貴重な体験となりました。

午前:台湾大学集思センターにて



何 瑞藤氏 による講演



熱心に聞き入る生徒たち



質疑応答では質問が次々と出ました



講演会終了後生徒に語りかける学校長



<人文科学コース> いよいよ交流開始です



用意したポスターと資料で一息懸命プレゼンです



留学生からのアドバイスに耳を傾けます



ポスターセッション全体を振り返っています



<自然科学コース>留学生リーダーがうまく盛り上げます



各班とも英語で一生懸命伝えました



議論にどんどん熱が入ります



最後に代表生徒が留学生に謝辞を述べました

午後:人文科学コースは日勝生加賀屋を訪問しました



まずは昼食で加賀屋のおもてなしを体感しました



支配人の講話を拝聴しました
“天命を知り使命として人事を尽くす”
地元金沢出身の方です
人生そして加賀屋を熱く語りました



台湾人の客室係の方に
質問が相次ぎました

午後:自然科学コースは新竹サイエンスパークを訪問しました



展示館入り口で記念撮影です

概要説明を熱心に聞いています

様々な科学技術に興味津々です



戯れに心癒やされました

広大な敷地のサイエンスパーク、時間の関係でほんの一部の見学でしたが、その分、いつかまた、今度は研究者として訪れることを夢見て訪問を終えました。

夕方:圓山大飯店(ホテル)前で合流し記念撮影、そして夕食会場へ

